

平成21年12月 日
島根県芸術文化センター「グラントワ」
(島根県立石見美術館)
企画広報課 担当：志田尾
電話：0856-31-1860
Fax：0856-31-1884

島根県立石見美術館 企画展「疾走する日本車—1960年代を主軸とする国産車の軌跡—」開催について

島根県立石見美術館では、企画展「疾走する日本車—1960年代を主軸とする国産車の軌跡」を下記のとおり開催いたします。地域の皆様方へ広く周知していただきますよう、よろしくお願いたします。※開幕セレモニーを12月23日(水・祝) 14:30～開催いたします。

記

1. 会 期 平成21年12月23日(水・祝)～平成22年2月14日(日)
休館日：毎週火曜日 年末年始12月26日(土)～1月1日(金・祝)
※新年は1月2日(土)から開館
2. 会 場 島根県立石見美術館 展示室D(グラントワ内)
3. 概 要 我が国で初めて国産自動車走り出し、驚きと羨望の眼差しをもって受け入れられてから約百年という時が経過しました。いつしか自動車は、日本の各メーカーによって量産されるようになり、現在日本は世界有数の自動車生産国として、世界トップクラスの性能とデザインを誇っています。
本展は、日本車が加速度的に成熟し、「黄金期」といわれた1960年代を主軸とする実車14台を展示します。また、それらの開発過程を物語るデザイン画、試作モデル、宣伝広告等を併せて展示し、カー・スタイリング/デザインの変遷を追い、当時の日本の自動車文化そのものを検証します。
4. 見どころ ○1967年に公開された映画「007は二度死ぬ」の撮影に使用した、世界に1台だけ現存する「トヨタ2000GTボンドカー」が展示
○イタリアのデザイナー、ジョバンニ・ミケロッチがデザインした世界に1台だけの試作車「日野コンテッサ900スプリント」が展示
○展示車両は、すべてメーカー秘蔵の選りすぐりの名車
○都道府県立の美術館では、初の日本車の大規模な展覧会
5. 主な作品 7メーカー14台の実車を展示



トヨタ 2000GT ボンドカー



日野 コンテッサ 900 スプリント



日産 フェアレディZ



ホンダ S500